

様式 1



平成23年 5月10日

独立行政法人

郵便貯金・簡易生命保険管理機構 理事長 殿

団体名 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

代表者役職名 会長

代表者氏名 若林 恭英

平成22年度国際ボランティア貯金寄附金に係る配分事業の実施計画書

別添のとおり提出します。

(これ以降、記入欄が不足する場合は、適宜行を追加の上、作成願います。)

第1 配分団体に関する事項

1 配分団体の名称等

注： 事務担当者様の連絡先につきましては、このご申請に伴い、確認させていただく事項が発生した場合に迅速な対応をお願いしたいことから、確実に連絡の取れる連絡先を記入願います。

(フリガナ) コウエキシャダンホウジン シャンティ コクサイ ボランティア カイ

配分団体名 公益社団法人 シャンティ国際ボランティア会

英訳名 Shanti Volunteer Association

配分団体の所在地・電話番号等

[郵便番号] 〒 160 - 0015

[所在地又は住所] 東京都新宿区大京町31 慈母会館2・3階

[電話番号] (03) 5360-1233

[FAX番号] (03) 5360-1220 (該当なければ「該当なし」と記入。)

[団体ウェブサイトURL] <http://www.sva.or.jp>

(本計画提出時までにウェブサイトを準備できない団体は、中間報告書提出時までに作成し、作成でき次第、当機構あて通知願います。)

(フリガナ) スズキ アキコ

[事務担当者氏名] 鈴木 晶子

[電話番号] (03) 5360-1233 (直接連絡の可能な番号を記入。)

[FAX番号] (03) 5360-1220 (該当なければ「該当なし」と記入。)

[E-mailアドレス] suzukiakiko@sva.or.jp

2 責任者名及び監査役、事務職員数及び会員数等

注：「団体代表者」「事務責任者」又は「会計責任者」が「監査役」を兼ねている団体は、寄附金の配分の対象となりません。

また、「監査役」とは、会計処理の正当性に加え、援助事業の執行状況全般について客観的な立場で監査を行う役職とします。特定非営利活動法人を含む法人格のある団体においては監事がこれに該当します。

なお、団体の構成上、監査役を2名以上置くことが困難な場合には、1名でも結構です。

団体代表者	(役職) 会長 (氏名) 若林 恭英 (郵便番号) 386 - 1431 (住所) 長野県上田市別所温泉 2361 (電話番号) 0268 - 38 - 2062 (FAX番号) 0268 - 38 - 2133 (E-mailアドレス) wakabayashi@anrakuji.com
事務責任者	(役職) 事務局長 (氏名) 関 尚士 (郵便番号) 203 - 0042 (住所) 東京都東久留米市八幡町1-9-28 インペリアル東久留米B棟507 (電話番号) 0424 - 76 - 2301 (FAX番号) (E-mailアドレス) seki@sva.or.jp
会計責任者	(役職) 経理・総務課長 (氏名) 市川 斉 (郵便番号) 206 - 0024 (住所) 東京都多摩市諏訪1-66-1-302 (電話番号) 0423 - 75 - 2428 (FAX番号) 0423 - 75 - 2428 (E-mailアドレス) ichikawa@sva.or.jp
監査役(監事) (注1)	(役職) 監事 (氏名) 青木 利元 (郵便番号) 350-1323 (住所) 埼玉県狭山市鶴ノ木20-15 (電話番号) 0429-53-0145 (FAX番号) 0429-53-0145 (E-mailアドレス) ftaoki@nifty.com
	(役職) 監事 (氏名) 増田 和生 (郵便番号) 598-0063 (住所) 大阪府泉佐野市湊2-6-1-521 (電話番号) 072-488-7738 (FAX番号) (E-mailアドレス) kazu-u@vesta.ocn.ne.jp

3 平成23年4月から平成24年3月までに実施予定の援助事業及び助成金受給の概要(受領予定のものを含む)

注：「助成金の助成機関名」「助成額」は該当するものについて記入願います。

なお、国や地方公共団体等の公的な助成機関に重複して申請している事業には、国際ボランティア貯金寄附金は配分できません。

予定期間	実施国(地域)	援助事業概要	助成金の助成機関名	助成額
H23.4~H24.3	カンボジア	図書館活動普及事業	草の根技術協力事業	14,761,000円
H23.4~H24.3	ラオス	初等教育改善事業	日本NGO連携無償資金協力金	8,150,000円
H23.4~H24.3	ラオス	公共図書館支援事業	草の根技術協力事業	27,281,892円
H23.4~H24.3	アフガニスタン	初等教育改善事業	ジャパンプラットフォーム	82,641,000円
~				円

第2 配分事業の内容等に関する事項

1 配分事業の対象国及び対象地

<p>[対象国] タイ王国</p> <p>.....</p> <p>[対象地] メーホンソン県ソブモーイ郡 メラマルアン難民キャンプ メーホンソン県ソブモーイ郡 メラウ難民キャンプ ターク県ターソンヤン郡 メラ難民キャンプ ターク県ポップラ郡 ウンピアム難民キャンプ ターク県ウンパン郡 スボ難民キャンプ カンチャナブリ県サンカブリ郡 ドンヤン難民キャンプ ラチャブリ県スアンプン郡 タムヒン難民キャンプ</p> <p>.....</p> <p>注： 上記の「対象地」については「〇〇県〇〇郡〇〇村〇〇地区」等、できるだけ詳しく記載願います。</p>

2 配分申請書提出以降の対象地の状況の変化の有無とその概要

<p>注： 昨年の配分申請書提出以降、貴団体が実施した現地の確認状況、またこれに基づく現地状況の変化について記入願います。 ただし、配分申請書に基づく当機構の審査において、既に御説明いただいた場合、該当の期間及び内容についてのみ、記入を省略できます。</p> <p>現在、ミャンマー（ビルマ）難民問題を解決する手段として唯一の有効な方法は、第三国定住プログラムである。定住受入国 12 カ国中で6割以上を受け入れてきた米国も、応募者や適合者が少なくなってきたことから、来年度からの受け入れ数が減る方向性を示唆している。申請書では、第三国定住プログラムがコミュニティにとって人材流出となり、様々な社会サービスの実施においても、国連や国際 NGO は度重なる人材交代、人材育成に頭を痛めている点を指摘していた。したがって、ここに来て人材流出の流れが幾分緩和される方向性も出てきたようにも見える。</p> <p>しかながら、第三国定住プログラム以外にも、給与の額、キャンプ外の労働機会（違法）、本人の忍耐力、結婚・妊娠・子育て、人間関係など様々な理由によって、せっかく育てた人材が職場を去ることも多いことも事実である。こうした問題も見据えた上で、人材育成を進めていかなければならないこともわかってきた。</p> <p>とりわけ、対象地の治安状況の変化もいくつか変化があるので、それらは後述した。</p> <p>.....</p> <p>.....</p> <p>.....</p>

3 配分事業の概要

[対象地のニーズに対応し、貴団体が実施しようとしている事業の概要]				
この欄はあくまで計画した事業の概要のみにとどめ、計画の詳細については、この後「5 配分事業の計画」の「(2) 配分事業の詳細」において記入願います。				
対象地	活動内容	援助対象者の属性	対象人数	着手年月 完了年月
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	活動管理・運営研修会（住民ニーズ調査編）	図書館委員会 カレン青年同盟 カレン教育部会 図書館コーディネーター 図書館員	20名	H23年 6月 H23年 7月
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	活動管理・運営研修会（事業改善計画作成編、共通）	図書館委員会 カレン青年同盟 カレン教育部会 図書館コーディネーター 図書館員	20名	H23年 9月 H23年 10月
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	諸活動実践研修会	図書館委員会 カレン青年同盟 カレン教育部会 図書館コーディネーター 図書館員	30名	H23年 7-8月 及び H23年 11-12月
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	絵本出版・図書配給研修会	図書館委員会 カレン青年同盟 カレン教育部会 図書館コーディネーター 図書館員	25名	H23年 7月 H23年 9月
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	参加型図書館建設・修繕研修会	図書館委員会 カレン青年同盟 カレン教育部会 図書館コーディネーター 図書館員	20名	H23年 10月 H23年 12月
7ヶ所のキャンプ (計8館)	図書館施設修繕工事	各キャンプの図書館周辺 在住の利用者	約 5000 名×8ヶ 所	H24年 1月 H24年 3月

注1：記入欄不足の場合、適宜行を追加願います。
注2：今回の事業実施期間は、平成23年4月1日から平成24年3月31日までです。この期間外に実施する事業は配分金の配分対象とはなりません。

[上記完了予定時期時点における配分事業の到達目標]

(具体的に記入願います(可能であれば数値を用いてください。))

本事業の目標は、「難民キャンプ内住民・組織がコミュニティ図書館の諸活動に対する主体性を高める」ことである。指標としては、事業運営、活動実施、図書配架、施設改善など、どの部分においてもキャンプ内住民・組織の参加や責任の度合いが高まっているかどうかを設定、それらは定期的なモニタリング記録、聞き取りやアンケートなどをもって確認していく。

とりわけ平成23年度は、コミュニティ図書館の運営について「組織アプローチ」を導入する最初の年でもあり、図書館委員会、カレン青年同盟、カレン教育部会といった組織内における「コミュニティ図書館」に関するコミットメントを最大限に高めることに焦点を当てる。

〔事業を上記の時期に実施する必要がある理由、あるいは実施する時期として効果が高い理由〕

現在、本年度からの事業アプローチおよび内容の変更に備えて、各組織と良好な関係を築くよう努力し、主体性を引き出すプロセスにある。今後いつ第三国定住などでキャンプ内の社会サービスの質が低下するかも予測できず、できるだけ早いうちに事業の運営の主体をしかるべき組織に任せしていくにはこのタイミングが非常に有効である。

4 配分事業の計画

(1) 年間作業スケジュール

注1：前記「3 配分事業の概要」で記入した対象地ごとのそれぞれの活動内容が網羅されるものとしてください。
(本ページを複写の上、各活動内容別にスケジュールを記載いただいても結構です。)

注2：スケジュールの策定に当たっては、事業対象地の暦（旧正月その他暦にまつわる休暇等）及び祭礼行事等の予定等も確認の上、くれぐれも事業対象地での協力が得られない時期（休暇期間）への作業スケジュールの設定はされませんようご留意願います。

また、現地の気象条件等により、実施することが困難な作業（例として、雨季の建設工事等）がある場合、その活動不能期間を考慮に入れた無理のないスケジュールを設定願います。

時 期	対象地ごとの活動内容（注1）	日本からの派遣の有無及び有の場合は人数
平成23年4月	・ 書架の入れ替え（-10月まで実施）	有（1名）
5月		有（1名）
6月	・ 活動管理・運営研修（住民ニーズ調査編）（-7月まで実施） ・ 諸活動実践のマニュアル配布（-7月まで実施） ・ フェンス修繕工事（-7月まで実施）	有（1名）
7月	・ 絵本出版・図書配給研修（-9月まで実施） ・ 諸活動実践研修（-8月まで実施）	有（1名）
8月		有（1名）
9月	・ 活動管理・運営研修（事業改善計画作成編）（-10月まで実施）	有（1名）
10月	・ 参加型図書館建設・修繕研修（-12月まで実施）	有（1名）
11月	・ 諸活動実践研修2（-12月まで実施）	有（1名）
12月		有（1名）
平成24年1月	・ 参加型図書館施設修繕工事（-3月まで実施） ・ 図書購入（-3月まで実施）	有（1名）
2月		有（1名）
3月		有（1名）

(2) 配分事業の詳細

前記「3 配分事業の概要」で記入した対象地ごとの活動内容が、各事業要件に合致することを含めてご説明願います。記入欄不足の場合、適宜行を増やしてください。

申請援助事業の概要や年間作業スケジュールを一見してわかるように、本事業はコミュニティ図書館を主体的に運営できるようになるために必要な研修活動を中心に計画されている。

図書館委員会やカレン青年同盟を主な対象として、事業全体の管理運営を紹介する活動管理・運営研修会、図書館施設のメンテナンスを紹介する参加型図書館建設・修繕研修会、図書館における貸し出し及び読書推進サービス全般を学ぶ諸活動実践研修会、そして利用者のニーズに合った図書を届けるための絵本出版・図書配給研修会など、どの活動も主体性を養うための重要なステップである。また、図書館建設や修繕（リフォーム）という活動は、同内容に関する研修会の実践編として位置づけられている。

これらの研修活動を内容をデザインし、講師を担っていくのは、現地職員及び日本人職員である。これまでの個人を中心としたアプローチでは厳選された人材に最低限の実践技術のみを中心に研修してきたが、同一組織の複数名に対して十分な理論と実践を学ぶ機会を提供する組織アプローチに期待される。

また、こうした研修、実践活動の他には、現地職員による月間モニタリングや関係者による四半期会議の場が各キャンプ毎に用意されている。SVA では、図書館運営の主体性が十分整うには最低3年間程度かかることを予想しており、本事業はそうした意味で「重要な初年度」のステップとなる。

留意点としては、難民キャンプにおける図書館運営の主体性が高まったとしても、難民あるいは難民キャンプという不安定なステータスであるため、事業資金や図書供給のマネジメントには自ずと限界はある。逆にそうした部分は国際 NGO である SVA の役割となり、キャンプ内人材の主体性を高めるための諸活動はそれら以外の管理・実践的な部分におけるマネジメント能力を高めることに焦点化される。

	・難民キャンプ内における図書館活動の運営母体としてSVAと協力体制を持っている。
--	--

イ 役割分担

[各実施事項別の分担]				
注1:「対象地」「活動内容」欄については、前記「3 配分事業の概要」で記入した事項を転記願います。				
注2:役割分担の該当がない部分は「なし」と記入願います。				
注3:分担する役割については「会計」「労務管理」「進行管理」「…との調整」「現場指揮」等、簡潔に記入願います。				
対象地	活動内容	責団体の分担	現地協力団体(現地協力者)の分担	援助対象者の分担
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	活動管理・運営研修会(住民ニーズ調査編、事業改善計画作成編、共通)	企画・運営・講師	研修会場アレンジ 参加者連絡	サービスを受益
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	諸活動実践研修会	企画・運営・講師	研修会場アレンジ 参加者連絡	サービスを受益
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	絵本出版・図書配給研修会	企画・運営・講師	研修会場アレンジ 参加者連絡	サービスを受益
7ヶ所のキャンプ (全対象地)	参加型図書館建設・修繕研修会	企画・運営・講師	研修会場アレンジ 参加者連絡	サービスを受益
7ヶ所のキャンプ (計8館)	図書館施設修繕工事	企画・共同 運営	企画・共同運営	サービスを受益
[上記の現地協力団体(現地協力者)の作業内容に関する配分申請時以降の調整状況](現地協力団体がない場合は記入不要です。)				
現地協力団体への事業の実施内容説明の開催時期、現地協力団体が協力可能な事項と不可能な事項についての確認状況、事業期間中に確保している現地協力団体のサポート体制等について記載願います。				
図書館委員会には、年間スケジュールと共に研修活動に関する内容、開催時期を大まかに伝えであり、修繕工事に関する内容、時期も相談してある。				
[上記の援助対象者(対象地の住民)の作業内容に関する配分申請時以降の調整状況]				
援助対象者への事業の実施概要説明の開催時期、援助対象者が協力可能な事項と不可能な事項についての確認状況、事業期間中に確保している援助対象者のサポート体制等について記載願います。				
各研修参加者の出身団体に関して、各種研修のスケジュール、内容などを連絡している。対象地の住民に対する図書館の修繕予定などは、まだ正式に周知されていない(今後、適当な時期に連絡していく)。				

(4) 貴団体から対象地へ派遣する専門家・スタッフの活動予定

[貴団体の分担作業の実施に要する日数及び派遣予定者等]						
注1：派遣予定者1名ごとに1行ずつ記入願います。行が不足する場合は、適宜追加願います。						
注2：「活動内容」は、(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。						
注3：「貴団体の分担」(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。 なお、記載した役割分担を複数人で実施する場合は、担当者（派遣予定者）ごとの役割について行を分けて記入願います。						
注4：「分担作業実施のために必要とする資格、技術等」については、当該作業実施のために専門性が必要となる場合のみ記入願います。単なる「現地での豊富な活動経験」はこの対象ではありません。						
注5：「要現地活動『日数』」は、必要とする「実働日数」を記入願います。						
注6：「時期」は、(1)の表の「日本からの派遣の有無」欄との齟齬がないか、再度確認願います。						
活動内容	貴団体の分担	分担作業実施のために必要とする技術、資格等	要現地活動『日数』	時期	派遣予定者名 (通訳の要否↓)	
活動管理・運営研修会 (住民ニーズ調査編)	企画・運営	特になし	14日(2日×7キャンプ)	6-7月	小野豪大	否
活動管理・運営研修会 (事業改善計画作成編)	企画・運営	特になし	14日(2日×7キャンプ)	9-10月	同上	否
諸活動実践研修会	企画・運営	特になし	28日(2日×7キャンプ×2回)	7-8月 及び 11-12月	同上	否
絵本出版・図書配給研修会	企画・運営	特になし	14日(2日×7キャンプ)	7-9月	同上	否
参加型図書館建設・修繕研修会	企画・運営	特になし	14日(2日×7キャンプ)	10-12月	同上	否
図書館施設修繕工事	企画・共同 運営	特になし	56日(7日)×8館(複数地同時進行可)	1-3月	同上	否
[派遣予定者の兼任予定] 上記のうち、該当者のみ記入願います。						
派遣予定者名	兼任先の派遣予定期間		兼任先及び本件配分事業の実施地との距離			

(5) 現地協力団体（現地協力者）の活動予定

[現地協力団体（現地協力者）の分担作業の実施に要する日数及び予定者等]				
注1：従事予定者1名ごとに1行ずつ記入願います。行が不足する場合は、適宜追加願います。				
注2「活動内容」は、(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。				
注3：「現地協力団体（現地協力者）の分担」は(3)の「イ 役割分担」に記載した事項を転記願います。 なお、記載した役割分担を複数人で実施する場合は、担当者ごとの役割について行を分けて記入願います。				
注4：「分担作業実施のために必要とする資格、技術等」については、当該作業実施のために専門性が必要となる場合のみ記入願います。単なる「豊富な活動経験」はこの対象ではありません。				
注5：「要現地活動『日数』」は、必要とする「実働日数」を記入願います。				
活動内容	現地協力団体（現地協力者）の分担	分担作業実施のために必要とする技術、資格等	要現地活動『日数』	従事予定者名
活動管理・運営研修会 （住民ニーズ調査編）	研修会場アレンジ 参加者連絡	特になし	14日（2日×7キャンプ）	未定（但し、図書館委員会・カレン青年同盟より選出）
活動管理・運営研修会 （事業改善計画作成編）	研修会場アレンジ 参加者連絡	特になし	14日（2日×7キャンプ）	未定（但し、図書館委員会・カレン青年同盟より選出）
諸活動実践研修会	研修会場アレンジ 参加者連絡	特になし	28日（2日×7キャンプ×2回）	未定（但し、図書館委員会・カレン青年同盟より選出）
絵本出版・図書配給研修会	研修会場アレンジ 参加者連絡	特になし	14日（2日×7キャンプ）	未定（但し、図書館委員会・カレン青年同盟より選出）
参加型図書館建設・修繕研修会	研修会場アレンジ 参加者連絡	特になし	14日（2日×7キャンプ）	未定（但し、図書館委員会・カレン青年同盟より選出）
図書館施設修繕工事	企画・共同運営	特になし	56日（7日）×8館（複数地同時進行可）	未定（但し、図書館委員会・カレン青年同盟より選出）

5 政府その他公的機関の受入体制

[配分申請時以降の政府その他対象地公的機関との事前調整の状況]
調整時期、調整先、調整内容（概要）について記載願います。

2010年11月にはタイ政府内務省難民調整事務所に対して、NGO連合体であるCCSDPTを通して2011年度事業に関して事業申請を行い、2011年1月には活動実施許可証を取得した（例年と同じスケジュール）。またこの承認に基づき、全スタッフが年間のキャンプ入場許可証（ID）を入手している。

[対象国政府へのNGO登録状況]
 済 未済（→取得予定時期 年 月頃）
法令などで外国籍NGO団体登録を規定（義務化）している国で事業を実施する場合、登録完了を確認できるまで配分金の交付は保留します。

[上記が「未済」の場合その理由]（以下の該当欄にチェックの上、必要事項記入願います。）
 対象国での登録完了までの手続に要する期間から逆算して、まだ猶予がある。

対象国での登録は不要である旨以下のとおり確認した。

確認した日

確認先機関名及び担当者

その他（以下のとおり）

〔対象国における外国籍NGOの活動についての法的規制の有無、援助事業の内容に係る法的規制の有無とその調整状況〕

対象国内での活動そのもののほか、配分事業の内容に法的規制等がある場合（例：建築に当たり、床面積〇〇以上のものについては〇〇機関の許可が必要、医療行為のうち、〇〇の実施に当たっては〇〇機関の許可が必要。）についてはその許可等の取得予定時期を記入願います。

タイ内務省からは前述のように活動実施許可（MOU）を得ている他、キャンプ内部への建設、大量物資の搬入、訪問者の入場などの際に文書で随時許可を得る必要がある。大まかなガイドラインはあるが、実際の運用はケースバイケースでその都度やりとりしている。

〔配分申請時以降の対象地及びその周辺地域の治安状況の確認結果〕

2011年11月のミャンマー（ビルマ）総選挙で強制投票などがあったとして、カレン仏教徒軍が政府軍に対して攻撃を開始、メーソットには数千人にのぼる避難民が流入した。ほとんどは数日のうちに帰国したが、戦闘自体は南下、散発しており、国境の周辺住民が常に出たり入ったりを余儀なくされ、避難生活が長引く人々もいる。しかし、これらの人々が難民キャンプに入ることは稀で、多くは戦闘が収束すればすぐに戻ることを希望している。以前は流れ弾がメーソットに飛来したこともあるが、上記戦闘の具体的な攻撃対象になることはなく、事務所の安全も確保されている。

タイ政府国家安全保障委員会は、4月、難民キャンプ閉鎖の方向性を示したが、具体的な方策、時期などの目処は立っておらず、また、国際社会の監視の目もあるため強制送還もできず、しばらくは難民キャンプは存続されるというのが大方の見方である。したがって、キャンプ内での社会サービスは国連、国際NGOなどの継続的なサポートが必要であることはいうまでもない。

6 配分事業の進捗状況の管理方法

〔貴団体の管理実施者〕

鈴木 晶子

〔実施時期及び頻度〕

平成23年8月及び平成24年2月の2回を予定。

【実施方法（実施管理者と援助地との連絡手段及び進捗管理の内容）】

普段は東京事務所にて電子メール、スカイプ、電話、郵便などを通して、現地事務所からの報告を元に連絡通信を実施。また、上記の時期に現地訪問活動を通して状況視察、聞き取りなどを実施、進捗管理を行う。

第3 配分事業に要する経費

1 配分事業に要する費用総額及び配分金使用予定額

団体名 公益社団法人シャンティ国際ボランティア会

現地通貨と日本円の適用レート 1パーツ= 2.69円 (平成23年4月1日現在)

用途又は使用目的等 (配分決定されたものについては用途別内訳 (項目))	品名	単価 (円)	数量	費用額 (円)	配分金額/ 自己負担金額	配分金使用予定
		(円貨換算の上記入)		(配分金使用予定額又は団体自己負担等額)		
物資・資機材調達費	フェンス 図書館1	75,620	1館	75,620	213,000	○
	フェンス 図書館2	59,680	1館	59,680	350	
	フェンス 図書館3	78,050	1館	78,050		
	書架購入費	25,891	8館 (2種類)	207,130	207,000	○
建設・修繕費	図書館修繕費	4,000	8館	32,000	32,000	○
	教材費/食費代	292	145人×2日×7ヶ所	593,430	593,000	○
					430	
スタッフ派遣	航空運賃 (成田-バンコク)	90,000	1人×1回	90,000	90,000	○
	国内交通費 (千駄ヶ谷-成田)	5,000	1人×1回	5,000	5,000	○
	現地移動 (バンコク-メーソット)	4,000	1人×1回	4,000	4,000	○
	日当	3,000	240日×1人	720,000	720,000	○
現地における雇用費	スタッフ日当	600	240日×9人	1,296,000	1,296,000	○
	作業員日当	135	7日×4人×8館	30,240	30,000	○
現地事務所経費	賃貸料	10,800	3ヶ月	32,400	32,000	○
	水道光熱費	0	3ヶ月	0	400	
現地交通費	燃料費	13,500	12ヶ月	162,000	162,000	○
翻訳絵本	シール紙代	67,250	1セット	67,250		
紙芝居制作費	制作費	1,076	200セット	215,200		
図書購入費	図書費	29,262	21館	614,502	615,000	○
資料費	写真印刷費	6,725	12ヶ月	80,700		
通信費	通信費	2,690	12ヶ月	32,280		
	(現地-日本)					
車輛維持代	点検修理	10,760	2台×12ヶ月	258,240		
	タイヤ購入	53,800	2台	107,600		
	保険代	61,870	2台	123,740		
援助事業に要する費用総額の合計				4,885,062		
寄附金配分希望額の合計					3,999,000	
配分決定時からの差額					0	

(記入上の際の留意点)

注1：配分事業の実施において、貴団体が必要とする全項目について記載願います。

注2：一つの品名について、配分金使用予定額と団体負担等額がある場合は、上段に配分金使用予定額を記入し、「配分金使用予定」欄に○印を付け、下段に団体負担等額を記入願います。

なお、各欄の配分金使用予定額は千円単位での記入としてください。

注3：記入欄不足の場合、適宜行を追加願います。

注4：「単価（円）」欄の記入に当たり、欄外左上の「現地通貨と日本円との適用レート」も必ず記入願います。

注5：「数量」欄において、雇用のための人件費や、現地滞在費については、何人日分で計上してください。週単位、月単位の雇用でも日数計算（実働日の換算）の上、記載を願います。

注6：換算の上、計算ミスのないようにしてください。また、「上記配分金使用予定額の合計」欄が、配分決定された金額以下であることを確認願います。

今回購入予定図書 (3か月分)

No.	本の種類	1か月				3か月			
		タイトル数	冊数 (図書部)	雑誌 (図書部)	単行 (THB)	見直し額 (円図書部)	見直し額 (円図書部)	見直し額 (円図書部)	見直し額 (円図書部)
1	漫画	5	5	105	16	80	1,680	240	5,040
2	小説	6	6	126	16	96	2,016	288	6,048
3	ニュース (スポーツ、ジャーナル)	2	4	84	17	68	1,428	204	4,284
4	現代ビルマニュース	1	3	63	19	57	1,197	171	3,591
5	カレンニュース	1	2	42	17	34	714	102	2,142
6	学生ウィークリー	1	5	105	15	75	1,575	225	4,725
7	雑誌	6	12	252	60	720	15,120	2,160	45,360
8	カレン雑誌	2	4	84	40	160	3,360	480	10,080
9	一般図書 16 タイトル 32 部	16	32	672	73	2,336	49,056	7,008	147,168
合計(タイバーツ)		40	73	1,533	-	3,626	76,146	10,878	228,438
合計(日本円) (1バーツ=2.69円)		-	-	-	-	9,754	204,833	29,262	614,502